

本学学生の新型コロナウイルス感染 4月12日の発表内容の訂正について

新型コロナウイルスに感染した本学の男子学生（4月11日陽性判明）は東京から戻った3月27日、仙台市内の自宅から柴田町の仙台大学のキャンパスに来ていたこと、さらに4月7日に友人たちと仙台市内でアルバイトをしていたことなどが本日までに判明しました。

4月12日の発表では「この学生は東京から帰って以降、一貫して自宅待機をしており、柴田町の本学キャンパスへ立ち入ってはいません」としておりました。しかし、その後の本学の再確認調査の結果、事実と異なっていることが明らかになりましたのでお詫びして訂正いたします。

この学生は、3月27日午前9時半ごろから午後1時ごろまで大学構内に滞在。この日の朝に仙台市内の自宅からJR仙石線、東北本線を利用し大学に来て、同じルートで帰宅していました。また4月4日にも車で柴田町内の友人宅を30分程訪れていました。さらに4月7日夜には、本学の友人3人と一緒に仙台市内でアルバイトをしていました。

この新事実を確認後、仙台市保健所宮城野支所と仙南保健所に報告、保健所の指導を受け本学では感染した学生が接触した学生を自宅待機させ、健康観察を継続するとともに、さらに調査を進めています。

令和2年4月15日 仙台大学 学長 遠藤 保雄

本学学生の新型コロナウイルス感染について

仙台市から11日に発表のあった新型コロナウイルス感染者の20代男子学生は、本学に在籍する4年生であることが判明しました。

仙台市在住のこの学生は3月22日から27日にかけて、就活のため東京へ行っておりました。帰仙後に体調不良を訴え、PCR検査により陽性反応が出ました。現在、病院への入院待ちで自宅待機をしているところです。

この学生は東京から帰って以降、一貫して自宅待機をしており、柴田町の本学キャンパスへ立ち入ってはいません。

本学では、当該学生のほかにも都内で就職活動をしていた学生について鋭意把握し、調査を進めています。

については、学生諸君は感染機会が大きな広がりを見せていることから、「3密」を回避し、不要不急の外出を自粛するとともに、手洗いの励行等感染防止のため、衛生管理の徹底に努めていただきたい。

なお、感染者の人権尊重と個人情報保護にご理解とご配慮をよろしく申し上げます。

令和2年4月12日 仙台大学 学長 遠藤 保雄